

栃木県及び周辺の地震活動（令和 7 年 3 月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 3 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 6 回（前月 7 回）、震度 3 以上を観測した地震が 1 回（前月なし）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

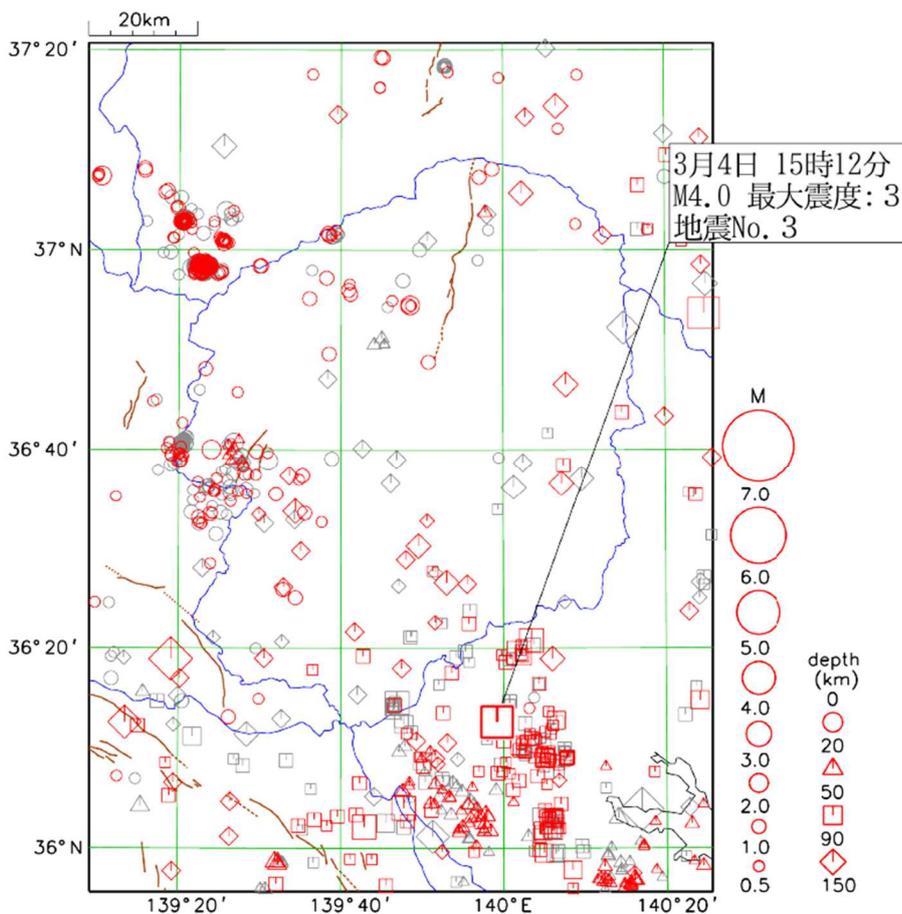


図 1 震央分布図（2025 年 2 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000(行政界・海岸線)』（国土地理院）を加工して作成した。

【3月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	3月2日	23時39分	埼玉県南部	36° 02.1'	139° 42.9'	54	3.1	1	1
2	3月3日	12時50分	群馬県南部	36° 18.9'	139° 19.1'	139	4.2	2	2
3	3月4日	15時12分	茨城県南部	36° 12.6'	139° 59.1'	53	4.0	3	3
4	3月12日	23時20分	福島県中通り	36° 53.6'	140° 24.8'	81	4.2	3	2
5	3月15日	15時40分	茨城県北部	36° 27.8'	140° 36.2'	55	3.6	2	1
6	3月22日	18時41分	茨城県沖	36° 26.1'	140° 41.4'	52	4.1	3	1

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 茨城県南部（地震No. 3）

4日15時12分に茨城県南部で発生した地震（深さ53km、M4.0）により、栃木県、茨城県、および千葉県で震度3を観測したほか、福島県と関東地方で震度2から1を観測しました。栃木県では下野市、壬生町で震度3を、10市町で震度2を、10市町で震度1を観測しました（図2）。

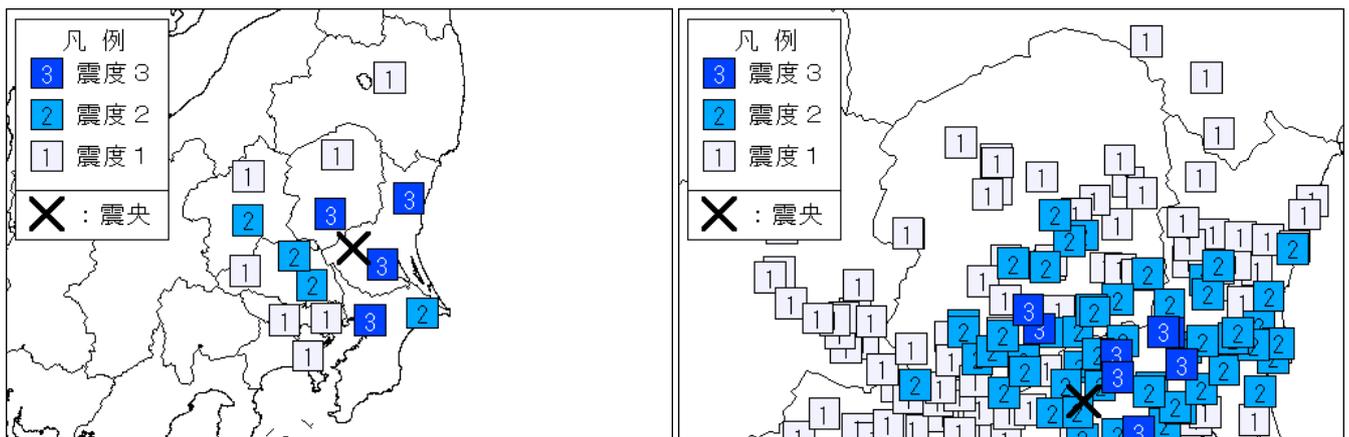


図2 4日15時12分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【震央分布図範囲外の地震】

今期間中、県内で震度3以上を観測する地震などの目立った地震活動はありませんでした。

【防災メモ】遠地地震に関する情報について

3月28日15時20分頃（日本時間）、ミャンマーでM7.7の地震（アメリカ地質調査所国立地震情報センターによる、以下同じ）が発生しました。この地震は2024年1月に発生した令和6年能登半島地震（M7.5）を上回る規模の地震であり、震源が内陸であったことから津波は発生しませんでした。浅い地震であったため現地や近隣諸国で様々な被害が報道されています。

気象庁では、海外で大規模な地震、都市部などで著しい被害が発生する可能性がある地震や火山噴火等が発生した場合は、「遠地地震に関する情報」を発表しています。この情報は発表の対象となる現象が地震、または火山噴火等のどちらになるかで情報の見方が異なるもので、情報文後半に火山噴火に関する記述があるかどうかで区別することができます。

大規模な地震による「遠地地震に関する情報」の場合（図3）、地震の発生時刻、発生場所、規模、日本や国外の津波の影響や観測状況についての情報が含まれることから、海外に住んでいる日本人の安否確認

のトリガーとして活用することができます。津波の被害のおそれがある場合、津波の到達する概ね2時間程度前を目途に津波警報等を発表しますので、余裕を持って避難等の準備もできるでしょう。

対して、大規模な火山噴火等により津波が発生する可能性がある場合にも「遠地地震に関する情報」が発表されます（図4）。火山噴火による気圧波、山体崩壊、海底地滑り等でも津波は発生しますが、その場合は津波が沿岸に到達する前に最大高を予測し、その高さに応じた津波警報等を発表することが極めて困難となります。そんな中でも、最も早く津波が到達する地域と時刻は情報に記載されますので、適切な防災対応をとるための参考情報として使用してください。また、情報文中の「震源地」の行にある緯度経度は大規模噴火を起こした火山の位置を表しますので注意しましょう。

遠地地震に関する情報には地震と火山と津波、3つの情報が含まれること、地震・火山どちらの現象で発表されたのかをまず確認することを覚えておきましょう。

- ・ 地震情報

- https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

- ・ 地震や火山現象等に伴い発生する津波

- https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami/various_causes.html



図3 地震をトリガーとした遠地地震に関する情報（気象庁 HP より）
3月28日にミャンマーで発生したM7.7の地震の場合。

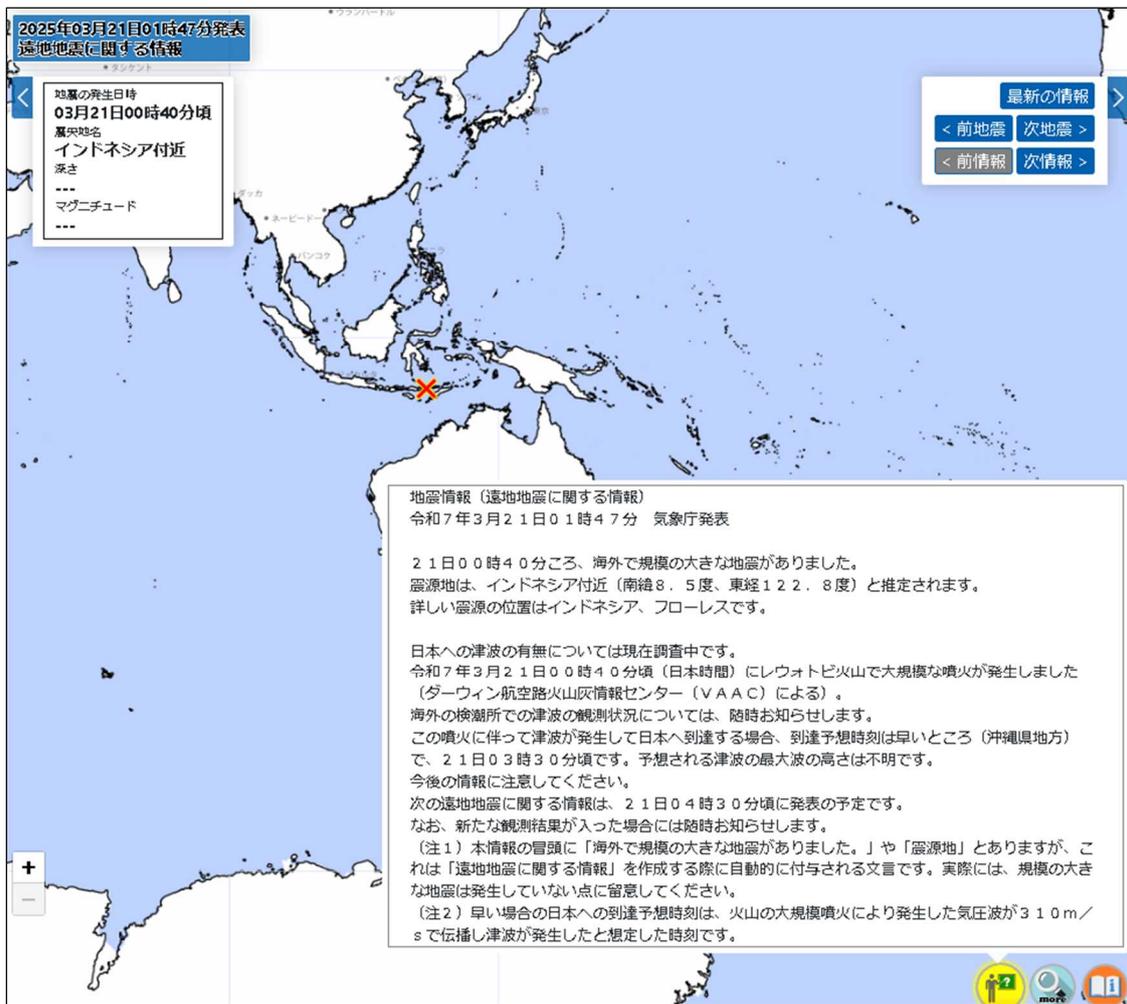


図4 火山噴火等をトリガーとした遠地地震に関する情報 (気象庁 HP より)
3月21日にレウオトビ火山 (インドネシア) で発生した大規模噴火の場合。

資料についての問い合わせ先 : 宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260